

第27号

MIRAINI



(編集・発行)
 社会福祉法人 豊中親和会
 生活介護事業所 第2みらい
 (発行人)
 岡本 啓
 〒561-0846
 大阪府豊中市利倉東2-1-15
 TEL06-6867-0828
 FAX06-6864-5634

「素のままフェスタ」に参加して 支援スタッフ 山田 大貴

2018年11月2日に開催された素のままフェスタで、「即興楽団うじゃ」の舞台に糸をかしの皆様と共に出演しました。今回も第2みらいからは前回と同様、職員1名、利用者3名の参加となりました。素のままフェスタの舞台を想定した活動を月1回実施して、練習の日の夕方には振り回りをを行い、試行錯誤を繰り返しながら今回の舞台が出来上がりました。今回は、25分と前回より長く時間をとったこともあり、余裕を持った構成になった様に思います。利用者の皆様は、何度も舞台上に立たれている方が多いから緊張することなく、むしろ余裕の表情で臨んでおられ、日ごろの成果を存分に発揮されているようでした。一人ずつ音を出す場面では、少し緊張された方もおられましたが、会場に来て下さっていた皆様方も声援を送って下さり、皆様しっかり音を出すことができていました。最後は、会場全体がうじゃの雰囲気にも包まれ、舞台上がってくださる方々も多くいらっしゃったため、今までで一番良いステージになったように感じました。ステージが終わった後は達成感に満ちた表情が見られました。次回は、さらに試行錯誤を重ね、より素晴らしい舞台になればと思います。会場に来て下さった皆様や支えて下さった皆様に感謝申し上げます。

自主製品「レジンアクセサリ」 支援スタッフ 田畑 彩花

自主制作品のレ진은、今年度は農業祭やなかまの店での販売、パネル展での展示等を行いました。パネル展は初めてでしたが、ご来場いただいた多くの方に見て頂くことが出来ました。ありがとうございます。まだ始めたばかりのレジンアクセサリですが、もっと皆様に知って頂き活動の場が広がればと思います。



自主製品販売のご案内



陶芸

1つ1つ手作り個性溢れる品です。食卓に潤いを!



雑巾

1枚 60円
 新しい雑巾で自宅のお掃除を是非!

レジンアクセサリ



研修実績 (H30.7.1~H31.1末まで)

月	研修名	受講者
7	門塾 中級講座 てんかん講座 障がい者施設課程通所コース	高橋 田畑・花本・富永 山田大貴 山名
8	自閉症カンファレンス	高橋
9	門塾 基礎講座 ダウン症の人の理解と支援 自閉症を正しく理解するという事 成人期ダウン症研究会	高橋 池田 高橋・花本 高橋 山田大貴
10	門塾 法人全体研修(虐待防止) 基礎講座 施設階層別における『人権研修』	高橋 全員 池田 山名
11	門塾 基礎講座 感染症予防対策講習会	高橋 池田 池田
12	アセスメントセミナー(基礎編) 障害福祉部会フォーラム 医療と支援現場の連携	池上 松本 関田
1	アセスメントセミナー(実践編)	富永・池上

寄付のお礼

物品	寄贈者	日付
空き缶 ¥189,143	ちいき 地域・ご家族様等	6月~11月
みかん4箱	おおさかほんばせいかわり 大阪本場青果卸売 協同組合様	12月
ジュース 4箱	ごとうがいしゃ 谷同会社 すまいる様	12月
花苗	はななえ 花苗 プロジェクト様	12月



※右記ホームページにてバックナンバーがご覧いただけます。 <http://toyonaka-sinwakai.or.jp/daini.html>

新年の御挨拶

第2みらい主任
田村 良子



謹んで初春のお慶びを申し上げます。
 皆様にはつつがなく新年をお迎えの事と存じます。
 今年は猪年、猪突猛進とはよく申しますが、
 前進！前進！！の年にしたいです。

さて、昨年は地震・猛暑・豪雨・台風と災害がとても多く
 改めて自然の力の大きさを感じました。そのような中でも
 利用者みなさんが、いつもと変わらず笑顔で過ごされている事を、改めて大切に
 感じる事のできた一年でもありました。その笑顔を絶やさず、おひとりおひとりが
 幸せに生きていくために、私たちは一丸となって進んでまいりたいと思います。
 昨年末は利用者満足度調査にもご協力いただき、ありがとうございました。私たち支
 援員は、今だけを見るのではなく、「過去があったから、今がある事。今を経て未
 来につながる事。」を再認識し、その人らしく生きていくために、今だからこそで
 きる事を見出し、着々と取り組んでいきたいと考えています。また現在、職員意識
 調査も進めており、利用者満足度調査も踏まえ、次年度は新たな中長期計画を考え
 る一年にしたいと思います。

近年、障害の分類やメカニズムが明らかになってきており、支援の考え方や方法も
 それに伴い進んできています。支援とは、支援者側の価値観や思いだけで進めるの
 ではなく、ご本人の思いを大切にしながら、専門職として、医学的科学的な見地
 のもと、利用者おひとりおひとりにとっての根拠のある支援を進める事であると考え
 ます。そのためには専門職としての視野を大きく持ち、専門的知識とご本人の立場に
 立って考える思いとの両輪で、ご本人に必要な支援を学ぶ事、そしてそのことを現
 場で共有し、チームとしてご本人を支えていける施設の信念・風土が大切だと思
 います。昨年は他法人から見学に来て頂く機会がありました。また、虐待防止委員会
 による法人内施設の視察を行う事も決まりました。様々な目が入る事で自施設の支
 援を見直す良い機会となります。このような機会を積極的に取り入れ、良い支援を
 提供できる1年にしたいと思
 います。

皆様にとって幸多き1年となりますように。
 今年もどうぞ、よろしくお願
 い致します。





平成30年度 一泊旅行 第2みらい主任 田村 良子

9～10月にかけて一泊旅行に行ってきました。淡路島やハーベストの丘、白浜やナガシマスパーランドなど様々なところへ行ってきました。これまでは全員で同じ日に旅行に行くというものでしたが、課題がやまもり。『ゆっくり食事をしたいのに、もう車に乗らないといけないの??』
『旅行は欠席したいけれど、第2みらいは行ったらダメ??』利用者の一泊旅行でありながら、個々の想いを尊重できていませんでした。そのような課題から、昨年は一泊旅行を中止し、職員の中で様々な検討を重ねてきました。利用者にとって一泊が楽しいものとなるように。そして迎えた今年度。行動ペースや楽しみ方を考え6つの小グループに分かれて実施しました。旅行に行くか、第2みらいで過ごすか、お休みをするのか…といった過ごし方の選択が可能になりました。
またバスではなく普通車での移動であったため、より個々に合わせた旅程が立てられるようになったと思います。また、今年度は災害がとても多く、予定していたところが休園で急遽の変更もありましたが、少人数のため変更もスムーズでした。みなさんの笑顔が輝いた一泊旅行になったと思います。ただ、良かった面ばかりではなく、旅行中の第2みらい内の職員体制や、送迎体制等、新たな課題も見えてきました。これらの課題について検討を重ね、更におひとりおひとりにとってより良い旅行になるよう、つなげていきたいと思っています。



選択余暇支援「バーベキュー」 支援スタッフ 富永 大智

9月29日に「バーベキュー」の選択余暇支援がありました。バーベキュー場所は神戸フルーツフラワーパーク大沢。天気は毎年恒例の雨でしたが、送迎車に乗り込まれた皆様には笑顔が見られました。何度も行ったことのある場所なので、近づくにつれ、さらにウキウキとされている様子が印象的でした。バーベキューは屋内なので、天候の心配なく楽しむことができました。ご自分で焼かれる方や、焼き上がりを心待ちにされる方。それぞれに、お肉も野菜もしっかりと召し上がり、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しむことができました。食事の後はアイス・ジュースを楽しまれる方や売店でお土産を購入される方などがおられました。また、雨のため園内の花は近くでみることはできませんでしたが、屋内の植物園があり、雨でも四季の花や果物のなどを観賞することができました。帰りは下道で帰り、雨も止んでおり、窓を開けると涼しい風を感じながら、三田・西宮名塩などの豊かな自然風景を見ながら戻ってきました。それぞれの楽しみ方で1日を過ごすことができたのではないのでしょうか。

BBQ

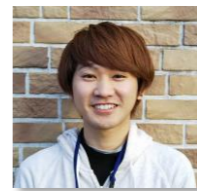


◆新職員の挨拶◆



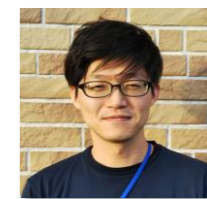
●支援スタッフ 松本 優希

初めまして2階1グループを担当させて頂いてます松本優希です！私は高校卒業後、高齢者施設で約3～4年を積み、次に障害者のグループホームで勤務をしていました。初めての福祉業界に入った時は、食事・排泄・入浴などの介助に対して容易にできるものではないと感じ、とても苦労しました。自分には福祉の仕事は向いていないのではないかと悩まされることもありましたが、しかし、そうしていくうちに福祉の魅力・遣り甲斐を感じ、今では福祉をやって良かったと日々感じています。毎日学ぶことも沢山ありますが、一人一人の利用者様のニーズにあった支援をしていくためにはまずは、コミュニケーションを取って信頼関係を築いていきたいです。思考錯誤しながら頑張りますので末永く宜しくお願いいたします。



●支援スタッフ 津田 顕司

8月から2階3グループでお世話になっております津田顕司と申します。以前は、身体障害者施設で、コミュニケーションが難しい方、医療ケアが必要な方たちと、農園活動、体のケア、入浴など毎日忙しくも楽しく過ごさせて頂いていました。第2みらいの面接に来た際、見学もさせて頂き、利用者、職員が楽しそうに過ごしているのが印象的で、ここに就職させて頂く事を決めました。働いて約4か月経ちましたが、まだまだ不慣れなこと、ご迷惑おかけすることがあるかもしれませんが、精一杯頑張りますので、これからもよろしくお願い致します。



●支援スタッフ 黒木 優香

新しく1グループに入りました。黒木優香です。毎日が新しいことでの発見で、楽しくお仕事をさせて頂いています。



利用者様がこれからも毎日来たいと思える様に、一緒に「楽しい」「面白い」を探していきたいと思っております。分からないことばかりでご迷惑をおかけすることも多いかと思っておりますが、宜しくお願いします。食事が好きで、利用者様と美味しい給食を食べることを毎日楽しみにしています。趣味はお笑いを見ることです。利用者様とたくさん笑って何でも楽しく挑戦していきたいと思っております。

施設間留学

支援スタッフ 隅倉 佳恵

平成30年9月3日、障がい者施設 多機能型事業所 みずほおおぞら(生活介護 定員40名)に職場留学をしました。みずほおおぞらを留学先として選んだ理由は、自施設からも多く短期入所の利用をさせて頂いているみずほおおぞらの生活介護ではどのような活動内容、支援内容が提供されているのか学ばせて頂きたいと思いを希望しました。今回の留学では施設を見学させて頂き、工夫されている点を見つけ、どのような意図で今の環境設定になっているのかを質問させて頂きながら、「環境作りについて学ぶ。参加、または見学をさせて頂き、支援方法や作業工程で工夫されている事を学ぶ。」を研修の目標にしました。実際にみずほおおぞらでは様々な障害特性をお持ちの方が過ごされる中、仕切り等を活用し個々にあったスペースを提供しておられました。作業においては、それぞれのご利用者にあった作業種別の提供、補助具の使用、状態に応じた作業量の調節などを行うことで集中して取り組まれていました。現在第2みらいでは、雑音、騒音、視覚的な乱雑さがストレスの原因になる方には、防音壁の使用などにより聴覚的、視覚的配慮を実施していますが、ご利用者にとって更に良い支援、環境整備ができるよう取り組んでいきたいと思っております。

1日という短い期間でしたが、様々な作業・活動に参加させて頂き大変有意義な1日でした。貴重な時間を頂きありがとうございました。

